



子どもたちが芸術に触れる機会を  
子どもたちの芝居を観る会

子どもと生の芝居を観る会が主催する「第33回地域公演」が、来島交流センターで開催されました。

同会は約30年前からほぼ毎年、飯南町にプロの劇団や音楽家などを招待。子どもたちのために公演を開催しています。

今回は全国で公演を行う、けんけんくじらさんが手遊びや音遊びを交えたパフォーマンスを披露。50人を超える親子が観賞に訪れ、普段観ることのないパフォーマンスに盛り上がりました。



子どもたちは動きを真似しながら楽しみました

7.19  
金



頓原の夏の風物詩  
とんばらふる里夏祭り

頓原交流広場で、2024とんばらふる里夏祭りが行われました。

町外からの来場者も多く、さまざまな屋台メニューと一緒に、盆踊りや頓原音頭踊り、よさこいパフォーマンスやライブなどステージイベントを楽しみました。ヨーヨー釣りといった出店や、アメ取りゲームに子どもたちも大喜び。大人も子どもも、夏の夜を満喫しました。

祭りが盛り上がる中、次々と打ち上げられた花火が夜空を彩り、観客からは歓声が上がりました。



夜まで多くの人でにぎわいました

7.20  
土



ゲームで交流を  
麻雀大会・オセロ大会

頭と手を使うゲームで認知症予防と、町民の皆さんの交流を図ることを目的に「第2回麻雀大会・オセロ大会」が赤名郵便局隣の福島邸で開催されました。

このイベントは赤名公民館が主催。当日は、赤名地区の住民の皆さんが参加し、笑顔で交流しながらも、白熱した勝負が行われました。

赤名公民館では、昨年5月から麻雀やオセロ、囲碁などを楽しむ集いを開催。今後も定期的開催されます。

問合せ 赤名公民館 76-3100



子どもも大人も楽しい時間になりました

7.20  
土



びしょぬれでやまめを捕まえる！  
やまめのつかみ取り大会

程原のふれあい養魚場で、谷公民館主催の「やまめのつかみ取り大会」が行われました。

2グループに分かれて、池に入り「えいえいおー」の掛け声で大会がスタート。足元をすばやく泳ぐやまめを、追い込んで捕まえることができると、歓声が上がりました。

夏休みに入った小中学生も多く参加。水に濡れながらつかみ取りをした後は、塩焼きしたやまめを味わいました。



物かげに隠れるやまめを手探りで探します

7.21  
日



日藝選奨を2年連続で受賞  
高校生の神楽甲子園

広島県安芸高田市の「神楽ドーム」で開催された第13回「高校生の神楽甲子園」に、飯南高校生命地域ラボ・神楽愛好会が出演し、最優秀賞にあたる「日藝選奨」を2年連続で受賞しました。

生徒10人は、昨年から練習してきた「土蜘蛛」を披露。迫力ある舞と伸びやかな演奏で会場を魅了しました。主将の影山翔音さんは「飯南神楽団の皆さんをはじめ、協力や応援してくださった皆さんに感謝しています」と感謝を伝えました。

神楽愛好会は、8月24日に赤名改善センターで開催される「第1回神楽舞in飯南」と8月29日の飯南高校鵬雲祭で公演予定です。



熱演に会場では拍手と歓声が響きました



2年連続の受賞に笑顔があふれました

7.21  
日



甲子園を目指して  
高校野球島根県大会でベスト4

飯南高野球部が夏の高校野球島根県大会で強豪校に競り勝ち、ベスト4の結果を残しました。

一昨年の準優勝を思い出させる快進撃。準々決勝では、昨年度優勝校の立正大浜南高に逆転勝ち、準決勝でも強豪の石見智翠館高と接戦を演じ、決勝進出にあと一步まで迫りました。

エースの岩本大政さんは「悔いはありません。最後まで一緒にやってきた仲間や支えてくれた皆さんに感謝しています」と話していました。



準決勝終了後、抱き合う迫田主将(奥)と岩本選手(手前)

7.25  
木



レッツチャレンジアウトドア  
公民館3館共催事業カヌー体験

美郷町カヌーの里おちで、赤名、谷、来島の3公民館共催事業「レッツチャレンジアウトドア」が行われました。

来島、赤名小学校の5、6年生6人が参加し、江の川でカヌーを体験。インストラクターから、パドルの使い方やカヌーの乗り降りなどの説明を受けた後、実際に川に入りカヌーを操作しました。最初は船体が揺れて緊張した様子でしたが、すぐに慣れ、約1時間半のカヌー体験を楽しみました。

最後にはカヌーから降りて全員で川遊び。夏のアウトドアを満喫しました。



アクティビティを終え、笑顔で戻ってきました

7.26  
金